

がくしゅうかだい（2ねんせい）

【こくご】おうちの人とけいかくをたてて、すこしずつすすめていきましょう。

<べんきょうすること>

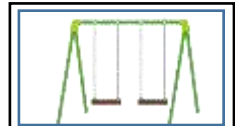
◆「きせつのことば1 春がいっぱい」（きょうかしよ 30～31 ページ）にとりくみます。

① 「はながさいた」を音読おんどくします。

② 30 ページ右下のカードのように、春だとかんじるものを2つか3つぐらいの文でノートや取組とりくみシートに書きます。

※見つけたものでも、知っているものでもいいです。

(例)



かよてすはっぼく こうえん
らう、こ。たが
でにあ。雪とうが
す。になそがえ思春
つべとんうな
たるけでのなえ

◆「きょうのできごと」（きょうかしよ 32～33 ページ）にとりくみます。

① 32 ページの日記にっき（きょう、またはきのうあったことについて）を読み、32 ページ下の「たいせつ」に書いているポイントをもとに、日記のよいところを見つけます。

② ①で見つけたよいところをできるだけ入れて、日記にっきをノートや取組シートに書いてみます。

◆あたらしいかん字「囟」～「肉」（きょうかしよ 28～33 ページ）まで、とりくみます。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

「きせつのことば」

・春の植物や生き物について話したり、図鑑があれば調べてみたりできると学習に広がり生まれます。

「きょうのできごと」

・P32 の4つのポイントを参考にし、お子さんに声をかけてみてください。

例) 「どんなことをしたの?」、「その時に思ったことは?」など

・お子さんが書いたものに目を通し、ほめたりアドバイスをしたりしてください。

・「きせつのことば」は春の様子が伝わってくるように書けているか、「きょうのできごと」は、4つのポイントがだいたい含まれているか、主語や述語のつながりに間違いはないかなどを確かめ、上手に書けていれば、ほめてあげてください。

【さんすう】

「※」はべんきょうするときの先生からのアドバイスです。

<べんきょうすること>

こんしゅうのべんきょうは、じぶんでとけいを見て、しらべることだよ。

◆時こくと時間（きょうかしよ 15～19 ページ）

- (1) きょうかしよ 15 ページのように、1日の生活で、なにかに^{せいかつ}取り組んだ時こくをしらべて、ノートか^{とりくみ}取組シートにきろくしよう。
- (2) こくごの「がくしゅうかだい」に取り組んだ日に、べんきょうをはじめた時こくとおわった時こくをノートか取組シートに書こう。
※もし、しらべることがをわすれたら、「夕ごはんを^た食べはじめた時こくと、^た食べおえた時こく」や「テレビを見はじめた時こくと、見おえた時こく」などにかえてもいいよ。
- (3) お休みの日に、おうちの人ととけいを見ながら、「いま、なんじだね」、「なんぷんたったね」、という話をしよう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆時こくと時間（教科書 P15～19）

- ・時刻と時間の違いは、2年生の子どもにとって大変分かりづらい部分があります。お休みの日などを利用して、日常生活の中で、「30分たったよ」とか、「今日は○時間寝たね」などと時刻と時間に関する会話を意識的に行うことで、生活の中で「時間」を捉えていくことができます。
- ・教科書 P18～19 のテープの図のように、「時刻と時刻の間の長さ」が時間を表すということを、捉えさせることで時刻と時間の違いが分かりやすくなりますが、「時刻と時間」の学習は、1年生から3年生までかけて理解できるようにしていくため、無理せずに関わっていただければと思います。

参考

※各教科書会社HPには、臨時休業中の学習に役立つ内容が掲載されており、札幌市公式HP「臨時休業中の学習課題」内の「役立つリンク集」で紹介しています。各教科の学習を進める際に、お役立てください。

